

夜の鬼の館はいかが 逢魔が時ナイトミュージアム

逢魔が時ナイトミュージアムは1日、鬼の館で行われました。逢魔が時とは、昼と夜の境目の時間を指し、鬼が出没する時間と言われています。

同日は、開館時間を2時間延長し、午後7時まで開館。展示室の解説や佐々木きわ子おこと教室による箏のコンサート、北上翔南高校鬼剣舞部による鬼剣舞が披露され、来場した約250人を魅了しました。平野湊輔君(5歳・北鬼柳)は「鬼剣舞がかっこよかった」とイベントを楽しんでいました。

佐々木きわ子おこと教室が奏でる箏の音がホールに響きわたりました



供養碑の前で一番庭を奉納する口内鬼剣舞の皆さん

50年の節目を迎え伝承を誓う 口内鬼剣舞秘伝書伝授式

口内鬼剣舞秘伝書伝授式は2日、昆野寿幸庭元方で執り行われ、口内鬼剣舞の3代目となる踊り手7人に秘伝書が伝授されました。口内鬼剣舞は岩崎鬼剣舞の教えを受け昭和43年に創始。今年50周年の節目を迎えました。伝授終了後は、口内町の浅間神社に場所を移し、供養碑の前で舞を奉納しました。

代表で秘伝書を受け取った昆野大和さん(36歳・口内町)は「作ってきた歴史を汚さないよう新たな歴史を刻んでいきたい」と決意を新たにしていました。

地域の足として車両を貸与 自動車貸与契約書調印式

トヨタカローラ南岩手(株)とNPO法人くちないの自家用有償旅客運送に関する自動車貸与契約書調印式は1日、口内町の店っこくちないで行われました。

同NPO法人は、平成22年から高齢者などの移動手段の確保を目的に、11人のドライバーが自家用車で輸送を実施しており、現在まで延べ約8,700人が利用。事業に感銘を受けた同社が、1年間無償で車両を貸与するものです。同法人の菅野豊志理事長は「ありがたく使わせていただきます」とあいさつしました。

2つの手すりがつき、乗り降りしやすい貸与車両「ニアウェルジョイン」(右)



地域花壇の部最優秀賞に輝いた、えづりこフラワー会の花壇を見学する皆さん

色とりどりの花を愛でる 花いっぱいコンクール入賞花壇見学会

北上市花いっぱいコンクールの入賞花壇が決まり、見学会が7日に行われました。地域の部はえづりこフラワー会、学校の部は飯豊小学校、職場の部はNPO法人パワーアップ支援室が最優秀賞に輝きました。

見学会には、午前と午後の回に市民36人が参加。参加者は各々に工夫された入賞花壇に見入り、入賞者から花や土の手入れの仕方、花壇のデザインなどの説明を熱心に聞いていました。賞の授与式は10月9日、北上市花いっぱい運動市民集会で行われます。

チームワークで人命救助 消防業務一般協力者表彰

北上地区消防組合は8月21日、傷病者の的確な容態確認、早期通報、心肺蘇生法救助を行った、回転寿司ノ家北上店店員の千葉幹夫さん(奥州市)、藤島秀美さん(更木)、笠井雄介さん(盛岡市)、飯塚渉さん(秋田市)に対し、消防業務一般協力者として感謝状を贈りました。4人は6月27日、意識を失い心肺停止した来店客に気づき即座に119番通報。心肺蘇生を行い、救急隊へ引き継ぎました。笠井さんらは「命を救いた一心だった。助かって良かった」と話していました。

すノ家北上店の伊藤正紀店長(左)と、表彰を受けた千葉さん(中央)と笠井さん(右)



スポーツボランティアとして学ぶ参加者とマナーについて学ぶ参加者

アスリートたちの支えに スポーツボランティア養成講座

スポーツボランティア養成講座(スポーツリンク北上主催)は8日、サンレック北上で開催されました。

今後開催されるラグビーW杯2019や、東京オリンピック2020に向け、注目度が高まっているスポーツボランティア。講座には17人が参加し、スポーツイベントにボランティアとして参加する際の心構えや基礎知識などを学びました。渡辺紘史さん(北上翔南高校3年)は「今後イベントにボランティアとして参加してみたい」と話していました。

がんと向き合い24時間

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018

がん医療に関する啓発を行う、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018きたかみ」は1日・2日の両日、みちのく民俗村で行われました。約260mのコースを24時間歩き続けるリレーウォークを皮切りにステージイベントを実施。夜にはルミナリエが行われ、がん患者などがメッセージを書いた紙袋約700個に明かりが灯されました。高橋寛美実行委員長は「同じ思いを語りあえる場。がんになっても安心して暮らせる住みよい街にしたい」と思いを語っていました。

がん医療に関する啓発を行いながら民俗村内を歩く関係者



安全ベルトをしっかりつけ、はしこ車に乗る子どもたち

楽しく学ぼう防災訓練 北上市総合防災訓練

総合防災訓練は2日、黒沢尻東地区で行われました。訓練は、地域の避難訓練と放水消火などの体験型訓練の2部構成で実施。早朝の避難訓練には同地区民約630人、体験型訓練には市民など約750人が参加しました。体験型訓練では、放水消火体験やバギー乗車のほか、今年初めてとなるコミュニティFM関連の展示、ドローン展示なども行われ楽しく防災について学びました。中村維臣君(黒沢尻北小1年)は「初めてバギーに乗った。楽しかった」と笑顔で参加していました。